

しょうがくせい

ほんよ

小学生におすすめ この本読んでみて！

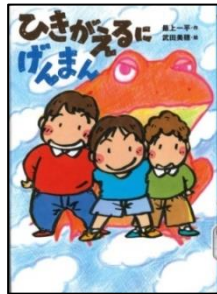
※ 2018年よりあとに出された新しい本からイチオシをしょうかいします。

ていがくねんむ
低学年向け

ひきがえるに げんまん

2年2組のしょうちゃん、大ちゃん、のんちゃんは、学校の帰り道に、車にひかれた“ぺっちゃんこ”のかえるを見つけます。

「しんでどこにいったんだろ？」
「しななかったら、なにをしたかったんだらうね。」三人は、かえるをかこんで、あるやくそくをするのでした。



最上一平/作, 武田美穂/絵, ポプラ社, 2018

ハンカチともだち

はるちゃんは、ひみつのハンカチをもっています。ハンカチのなかには、かわいいこびとがすんでいて、ちょこまかうごきまわっているのです。

はるちゃんは、このふしぎなハンカチをととてもたいせつにしています。

ところが、給食の時間にたいへんなことがおきてしまいます。



なかがわちひろ/作, アリス館, 2019

もぐらはすごい

もぐらを見たことがありますか？大きな手と、するどいつめでトンネルをほります。うでのつよさは、もし人間だったら、おすもうさんを、なん人ももちあげられるほど！

もぐらのひみつがいっぱいあった絵本です。



アヤ井アキコ/著, 川田伸一郎/監修, アリス館, 2018

自転車がほしい！

自転車がほしい男の子ルーベン。友だちは自転車をもっているのに自分だけもっていません。うちにはお金がないのです。

そんなある日、ルーベンはスーパーでお金をひろいました。この“ひみつのお金”があれば自転車を買えます。



マリバス・ポルツ/文, ノア・Zジョーンズ/絵, 尾高薫/訳, 光村教育図書, 2019

ハヤクさん一家とかしこいねこ

ハヤクさんちのおとうさんとおかあさんは、いつも「早く！早く！」と大あわて。

けさはねぼうして、むすこのハリーを学校におくっていくのをわすれてしまいました。そのピンチをすくったのは…！？

ハヤクさん一家のハチャメチャでゆかいなお話です。



マイケル・ローゼン/作, トニー・ロス/絵, ないとうふみこ/訳, 徳間書店, 2019

こだぬきコロッケ

こだぬきのポン吉は、毎日「たぬばけ道場」で化けるけい古をしているけれど、しばしばばかり。

なにもかもいやになってしまったポン吉が、道場からぬけだしてうら庭でねていると、おなかをすかせたオオカミがやって来て…！



ななもりさちこ/作, こばようこ/絵, こぐま社, 2018

しょうがくせい

小学生におすすめ この本読んでみて！

ほんよ

※ 2018年よりあとに出された新しい本からイチオシをしょうかいします。

ちゅうがくねんむ
中学年向け

こわいオオカミのはなしをしよう

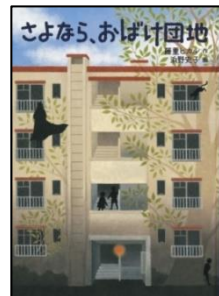
5さいのマイケルは、パパがしてくれる“おはなし”が大すき。こんどは、年をとったあまりこわくないオオカミが出てくるおはなし。でも、マイケルはこわくないオオカミなんてだめと、パパに注文をつけました。



ウィリアム・マクリーリー／作、佐竹美保／絵、小宮由／訳、岩波書店、2019

さよなら、おばけ団地

「おばけ団地」と呼ばれている桜が谷団地には、こわいうわさがありました。団地に出る子供たちのうれしい「おくりっこ」、屋上にのびる「白い手」、まぼろしの「四号棟」…。ふるふる団地の不思議な物語です。



藤重ヒカル／作、浜野史子／画、福音館書店、2018

みんなで守れ! ふくちゃんのいのち : 結核にかかったボルネオゾウ

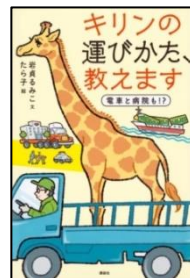
広島県の動物園に、「ふくちゃん」というボルネオゾウがいます。ふくちゃんは、結核という病気にかかり、体重が300キロ以上も減ってしまいました。園長、飼育員、獣医、みんなで力を合わせて、ふくちゃんを助けます。



秋川イホ／文、フレーベル館、2019

キリンの運びかた、教えます : 電車と病院も!?

2歳のキリンが、岩手県から遠く離れた東京の動物園に引っ越すことになりました。キリンは、背が3.5メートル、体重は600キロもあります。キリンが、けがをせずに病気にならないように運ぶには、どうしたらよいでしょうか。



岩貞るみこ／文、たら子／絵、講談社、2018

とねりこ通り三丁目ねこのこふじさん

仲間はずれにされて引きこもりになっていた、ねこのこふじさん。とねりこ通りの西洋館に住むおばあちゃんが旅に出ている間、留守番を頼まれます。おばあちゃんねこふじさんに、花火やお月見など毎月行事をして、その様子を手紙で送るよう言いつけました。



山本和子／作、石川えりこ／絵、アリス館、2019

本気でやれば、なんでもできる!?

小学3年生のビリーは、授業に集中できなくて、先生にしかられてしまいます。「いっしょうけんめいがんばれば、できないことなんてひとつもないのよ」と言われ、その気になったビリー。本気で頭に“角”を生やそうと決心します!



ジョン・ヨーマン／作、ケンティン・ブレイク／絵、三原泉／訳、徳間書店、2019

しょうがくせい

小学生におすすめ この本読んでみて！

ほんよ

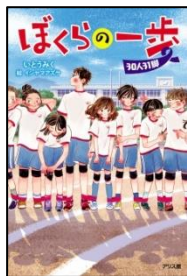
※ 2018年よりあとに出された新しい本からイチオシをしょうかいします。

こうがくねんむ
高学年向け

ぼくらの一歩 : 30人31脚

転校してきたばかりの学校で、30人31脚の小学生大会に出場することになったわたし。

みんなは優勝を目指してはりきって練習しているけど、わたしは実は、足が遅くて、スポーツは大の苦手!! どうしよう…。



いとうみくノ作、イシヤマアズサノ絵、アリス館、2018

昨日のぼくのパーツ

学校でウンコしたら罰ゲーム! こんな競争のせいで、大志は便秘になってしまいます。

そんな大志が自由研究のテーマとして思いついたのは、トイレ! いっしょに調べる仲間を誘おうと、クラスメイトに声をかけると、みんなそれぞれトイレ関係のなやみがあって…。



吉野万理子ノ著、講談社、2018

いいたいことがあります!

陽菜子は、中学受験を控えた6年生。お母さんから家事も勉強もきちんとやるよう厳しく言われています。でも、お兄ちゃんは家事をしなくても許されるのです。不満でモヤモヤしていた陽菜子のところに、あるとき不思議な女の子が現れました。



魚住直子ノ著、西村ツチカノ絵、偕成社、2018

先生、ウンチとれました : 野生動物のウンチの中にある秘密

「動物のウンチ博士」の牛田先生は腸内細菌の研究者。アフリカの森などで、野生動物の“出したて”のウンチを集めています。ゴリラに怒られたり、ゾウに追いかけられたり苦勞もいっぱいですが、これも細菌を調べるため。

さあ、先生とウンチ探しの旅に出かけよう!



牛田一成ノ著、さ・え・ら書房、2019

ノウサギのムトウラ

：南部アフリカのむかしばなし

ノウサギのムトウラは、小さいけれど、かしこくいたずら好き。大きなゾウやカバをだましたり、知恵をつかってピンチをきりぬけたり。

「うさぎとかめ」に似た話やノウサギのしっぽが短くなったわけなど、アフリカ南部に伝わる8つの昔話。



ビヴァリー・ナイドゥーノ作、ピート・フロブラーノ絵、さくまゆみこノ訳、岩波書店、2019

故郷の味は海をこえて : 「難民」として日本に生きる

手作りプリンや豆のカレーなどが外国のおいしそうな料理の写真がいっぱい! これを作ったのは、命の危険があるため故郷から日本に逃れてきた「難民」の人たちです。彼らが打ち明けてくれた“本当の話”から、世界の今が見えてきます。



安田菜津紀ノ著・写真、ポプラ社、2019